

広告出稿のご案内

特集 持続可能な社会を支える粉体プロセスの最新動向

自動車、エレクトロニクス、化学、医薬品、化粧品などを代表とするモノづくりは、さまざまな粉体を使用され、その粉体プロセスも多種多様です。今後の持続可能な社会に対応するためには、これらのモノづくりを支える低環境負荷、省エネルギーに向けた粉体プロセスの開発や製品使用後の新しいリサイクル技術の開発などが極めて重要になります。特に、我が国が目指す2050年カーボンニュートラルの実現のためには、次世代電池材料などの革新的な材料開発やバイオマスの有効活用なども喫緊の課題です。このように、粉体プロセスは、持続可能な社会を実現するためのカギを握る基盤技術と言えます。

本特集では、持続可能な社会を支える粉体メーカー各社の新材料開発に向けた粉体プロセス開発や新しいリサイクルプロセスなどの事例について紹介します。

【予定目次】

【総論】

粉体のできる持続可能な社会への貢献 大阪大学 内藤 牧男

【解説】

持続可能な社会に向けた新リサイクル技術の開発 早稲田大学 所 千晴
 ナノサイズゼオライトの環境応用に向けた材料開拓と粉体プロセスの開発

東京大学 脇原 徹
 中村 超硬

微小重力環境を基礎とした新しい材料プロセスを探る JAXA 石川 毅彦

【粉体プロセスの具体的な事例】

Carbon-LFTD自動化プロセスの開発ー繊維強化熱可塑性樹脂の直接成形 栗本鐵工所
 省エネルギーが可能な粉砕技術 アシザワ・ファインテック
 電池製造プロセスに利用される粉粒体機器の提案 日本コークス工業
 PTFEのリサイクル技術 セイシン企業
 次世代電池材料の開発を支える粉体技術 ホソカワミクロン
 持続可能な社会を支えるナノ粒子加工 日清製粉グループ本社
 乾燥を伴うバイオマス原料の多段粉砕技術 奈良機械製作所
 次世代電池の開発に寄与する微粒子設計 パウレック

【ユーザー事例】

LIXILが目指す未来のための粉体の利用術 LIXIL

広告締切日

- 広告お申し込み締切日……………8/18(水)
- データ入稿締切日……………8/23(月)
- 発売日……………9/15(水)

工業材料

掲載料金表

- 発行部数：28,000部
- 体裁：B5判・左開き・無線平とじ

記事中(1色)	ヨコ1/3	49,500 (45,000)
挿 込	2	205,700 (187,000)
	4	328,900 (299,000)

【特定頁】

場 所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)
表紙 1	1	556,600 (506,000)	—	—
表紙 4	1	492,800 (448,000)	328,900 (299,000)	267,300 (243,000)
表紙 2	1	448,800 (408,000)	299,200 (272,000)	243,100 (221,000)
表紙 3	1	336,600 (306,000)	224,400 (204,000)	181,500 (165,000)
本文目次(奇)	1	425,700 (387,000)	283,800 (258,000)	229,900 (209,000)
(偶)	1	392,700 (357,000)	261,800 (238,000)	212,300 (193,000)
(下)	1/4	—	—	64,900 (59,000)
広告目次(奇)	1	358,600 (326,000)	238,700 (217,000)	193,600 (176,000)
広告目次(偶)	1	324,500 (295,000)	216,700 (197,000)	176,000 (160,000)

【前付】

場 所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	2色 (M+K)	1色 (K)
第1頁	1	425,700 (387,000)	—	—	—	—
最終頁	1	—	—	—	—	130,900 (119,000)
普通頁	1/2	—	—	—	79,200 (72,000)	56,100 (51,000)
	1	380,600 (346,000)	193,600 (176,000)	146,300 (133,000)	133,100 (121,000)	93,500 (85,000)
	2	686,400 (624,000)	349,800 (318,000)	262,900 (239,000)	239,800 (218,000)	168,300 (153,000)
	3	1,001,000 (910,000)	510,400 (464,000)	385,000 (350,000)	350,900 (319,000)	245,300 (223,000)
	4	1,296,900 (1,179,000)	661,100 (601,000)	499,400 (454,000)	454,300 (413,000)	317,900 (289,000)

※表示価格は税込金額、()内は税抜き表示です。

◆ B5判広告スペースサイズ

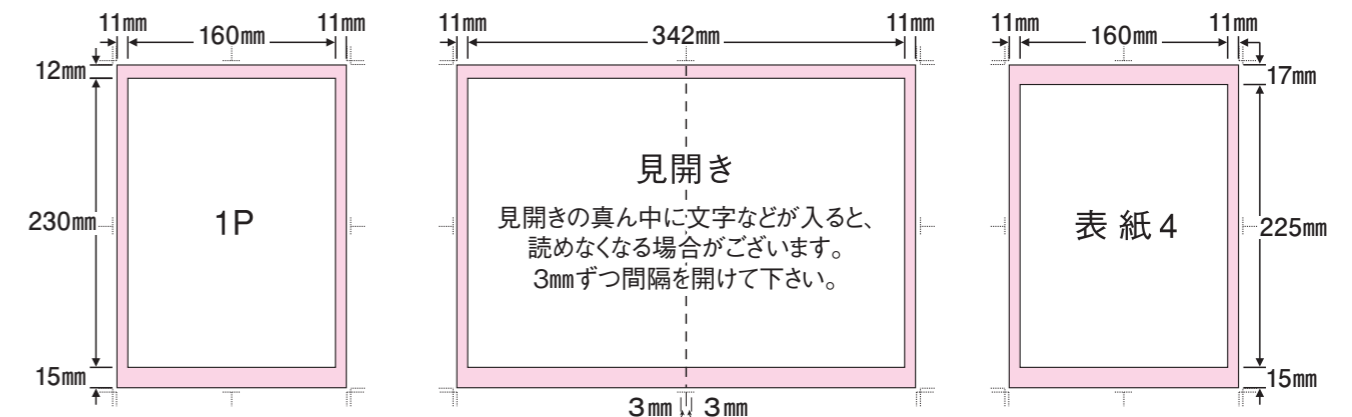
▼原稿サイズ

(仕上がり寸法257×182mm)

●広告データのヘッダー部分に「雑誌名」「発行号」を記入。

スペース	サイズ	普通版 天地×左右(mm)	断切版(ブリード) 天地×左右(mm)
A 表紙	4	225×160	不可
B 1ページ	—	230×160	257×182
C 見開き	—	230×342	257×364
D ヨコ1/2ページ	—	105×150	不可
E タテ1/3ページ	—	225×45	不可
F 記事中ヨコ1/3ページ	—	65×150	不可
G 目次下1/4ページ	—	55×150	不可

※断切版は断ちしろ3mm加算(天地左右)



上図の様に「1頁」および「見開き(2頁)」の原稿は、「コーナートンボ」および「センタートンボ」を、1頁はB5版に、見開き(2頁)はB4版に付けて下さい。ブリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

日刊工業新聞社 出版局
 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
 雑誌部 TEL 03-5644-7447
 FAX 03-5644-7405

大阪支社 ☎ 06-6946-3358
 名古屋支社 ☎ 052-931-6155
 西部支社 ☎ 092-271-5716

制作ガイド

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部 広告原稿データ 入稿仕様書 

広告主名		
担当者	☎	()

データ制作者 記入欄

会社名	☎	()
担当者	E-mail アドレス _____ @ _____	

入稿メディア	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	メディア返却の有無
	<input type="checkbox"/> MO <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> 要返却 <input type="checkbox"/> 返却不要

仕様システム	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	● ご記入下さい
	OS Mac <input type="checkbox"/> 9.x <input type="checkbox"/> 10.x <input type="checkbox"/> _____	Windows _____

出力ファイル名 (epsでの入稿推奨)	出力見本 (実寸1枚) (PDF可)	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色 <input type="checkbox"/> 3色 <input type="checkbox"/> フルカラー	

フォント	フォントは全てアウトライン化して下さい (Adobe Illustrator・InDesign)
<small>※アウトライン化できない場合、使用フォント名を記載してください</small>	

※アウトライン化が出来ない場合は印刷用PDFでのご入稿を推奨いたします (X1-a形式での入稿を推奨)。
※PDF入稿の場合はトンボ及び塗り足しの処理を再度ご確認ください。

原稿タイプ	● 原稿タイプは、裏ページの「サイズ」欄を参照の上 <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G

色数	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色(マゼンダ+スミ) <input type="checkbox"/> 2色(シアン+スミ) <input type="checkbox"/> 3色(CMK) <input type="checkbox"/> フルカラー

アプリケーション	● 使用アプリケーションに <input checked="" type="checkbox"/> チェックし、バージョンをご記入下さい
	<input type="checkbox"/> Adobe Illustrator _____ <small>※「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい</small>
	<input type="checkbox"/> Adobe InDesign _____

リンクデータ	● リンクデータに <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	<input type="checkbox"/> 埋め込み
	<input type="checkbox"/> EPS <input type="checkbox"/> TIFF <input type="checkbox"/> PSD (<input type="checkbox"/> CMYK <input type="checkbox"/> グレースケール <input type="checkbox"/> モノクロ2階調)	

オーバープリント	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
----------	---

ハーフトーンスクリーン	● 使用しないで下さい
-------------	-------------

ダブルトーン	● 推奨しておりません。なるべくシアン版、マゼンダ版、ブラック版にて作成下さい。
--------	--

備考：	
-----	--

入稿前にチェックしてください (再確認)

- フォントはすべてアウトライン化 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 孤立点・不要なオブジェクト等は削除 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 入稿データの保存形式は「EPS」を推奨 (ai, PDF 可) ※1.
- aiデータは保存の際「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
- カラー原稿は、CMYKで作成 (RGB、特色厳禁)
- モノクロ原稿はグレースケールで作成 (CMYK、RGB、特色厳禁)
- モノクロ画像はグレースケールまたはモノクロ2階調で作成 (CMYK画像、RGB画像は厳禁)
- 画像データは「適正解像度」にしている
- 画像の保存形式フォーマットはEPS、TIFF、PSDのいずれかにしている ※2.
- EPSオプションは「8bit/pixels」で「ASCII85」で保存している
- ドキュメント設定の透明/プリセットは「高解像度」に設定にしている
- ドキュメントのラスターサイズ効果設定は「高解像度」に設定にしている
- 赤版は「マゼンダ」で、青版は「シアン」で作成 (3色はCMK) ※3.
- 断ちトンボ(トリムマーク)は付けてある (1頁・見開き・表4の場合) ※4.
- 入稿データは、作成したバージョンのまま保存 (下位保存すると破損することがあります)
- 各データには保存形式にあった拡張子を付けている
- 画像データ等のリンクファイルは同一階層(フォルダ等)に収め、画像データのリンク漏れは無い
- 出力見本で、文字化け等の無いことは確認済
- ウイルスチェックは実施済
- オリジナルデータはバックアップ済

- ※1.) PDFで入稿の際は、「x1-a」形式での入稿を推奨します。
- ※2.) イラストレーターaiデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「PSD」を推奨します。イラストレーターepsデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「eps」を推奨します。
- ※3.) 赤版は、日刊工業新聞社指定の赤を使用します。
- ※4.) プリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

広告原稿 入稿後の進行予定 (営業日内)

- ① 入稿日(受付時間：14時まで)に完全原稿 14時以降は翌日扱いになります。
- ② 入稿日の中2日後にプルーフ出力。
出力(プルーフ)：モノクロ・2色は1枚、3色・フルカラーは2枚。 ※表紙と表4については1枚。
- ③ 入稿日の翌々日着で、上記出力を送付 [佐川急便] ⇒ 出力確認・責了。
※上記以外の出力プルーフについては別途費用がかかります。
※再入稿した際の出力プルーフについても別途費用がかかります。

注) 締切日直前は入稿が集中しますので、余裕を持った入稿をお願いいたします。また、弊社で入稿原稿のデータを修正することは原則ございません。

◆ その他、ご不明な点がございましたら担当者にお尋ね下さい。

 日刊工業新聞社 出版局 雑誌部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL.03-5644-7447 FAX.03-5644-7405